



【中同協 第51回青年経営者全国交流会(広島)】

■9/14(木)-9/15(金) 出村 有基 会員((株)栄光プリント 代表取締役)が分科会で報告
「八方美人の逃げまくり経営からの脱却」～人と向き合う経営が地域を輝かせる～



今回の青全交は「主体者であれ～学びは広島にあなたがやらねば誰がやる～」というテーマで開催され、中同協の全国大会として過去最高の2,500名以上が参加、石川からは24名の会員が参加しました。第17分科会

では石川同友会から出村有基会員が報告しました。報告の主旨は、自分と向き合い、社員やたくさ

んの人と向き合い、見えてきたのは「栄光プリントはこれまで地域に生かされてきた」ということでした。そこから今現在取り組んでいる挑戦やビジョンの話を、出村会員らしく愛を持って報告した分科会となりました。参加者は「自分やいろんな人と向き合っているか?」「そもそも地域とは何か?」「これから地域のために実践できることは何か?」といったことをグループ討論で深く愛を持って話し合っていました。(寄稿:音地 利亮 第17分科会座長)

【前期役員研修会】

■8/29(火)立石 克昭氏 (株)タテイシ広美社 会長(中同協副会長・広島同友会代表理事)

『学んで実践』してこそ同友会～「いこる」経営者、会社、同友会をつくる!～



前期役員研修会がITビジネスプラザ武蔵で行われ、同友会の役員とは?を
かみ砕いて講演して頂きました。以下、報告要旨を紹介します。

①経営のにおいがする例会が出来ているか?

例会を作るにあたり、参加者が「経営に役立った」と思える内容にしている
か?それを見極めるのが役員の役割。

②同友会のために同友会をしていないか?

同友会の中で活躍するのではなく、同友会の学びを自社に活かす。同友会活
動と会社経営は不離一体でなくてはいけない。両輪で回す経営をすることで成長が加速する。

③社員が自分の人生の夢を持てるようになるのが経営者

社員の立場で会社を見て、社員に夢を与えるのが経営者の仕事。経営者の立場だけで会社を見ていて

は何も気づかない。

④経営指針はタクシー

タクシーの運転手が社員。乗客が経営者。タクシーに乗った乗客がまずすることは、行き先を示すこと。そして、その分のお金を払うこと。運転手はよりよいルートで目的地に着くこと。タクシーに乗って行き先を言わない乗客、どこに行くかわず指示だけする乗客、これは運転手として怖いこと。社員も経営者も一緒。

そして【魅力ある経営者】である役員が石川同友会の商品として、会員から憧れられる会社にならないといけない。

会員増強により、会勢が地域の経営環境を変える。広島同友会は3,000社の会員がおり、G7サミットの前夜祭に来賓として招かれた。会勢がないと、そういったところに声もかからない。

タイトルにある、「いこる」とは、炭が赤くなっている状態のことを表す広島弁。

赤い炭はなかなか消えないし、周りにも伝播する。「いこる」経営者がどんどん広まることで会社や経営環境が大きく変化するパワーを持てる。

夢と勇気をもたらえる役員研修会でした。(寄稿：乙丸屋 久兵衛 広報委員長)

【9月支部例会・行事報告】

■金沢城南支部

9/9(土)・9/10(日)『JO・Fes 2023』オープンキャンパス 金沢未来のまち創造館ほか
～地域活動「サイクルトレイン」、絆を深める増強活動へ～

今年で4回目となったジョーフェス。城南支部の絆とパワーを感じられる大切にしているイベントです。『24時間例会をしよう!』当時副支部長だった坂池会員の発案です。第1回目は、土曜日朝8時のゴルフから始まって、ヨガや散歩、みんなで歌を歌ったり夜更けまでイベントは続き、次の日の昼まで、徹夜明けのハイテンションで清掃活動、ソフトボールをするという大人とは思えない奇妙な会。しかし確実に会員の繋がりは深まりました。2回目以降もコロナに負けず、ハイブリットで開催、地域活動やSDGsなどに着目し、コツコツと活動を続けてきました。諦めず続けられた理由は、会員同士が会いたい、顔を見たい、皆と何かを成し遂げたいという気持ちがあるからです。

今年の地域活動『サイクルトレイン』は北陸中日新聞にも取り上げられ、城南支部の絆が更に深まりました。

ジョーフェスは当日だけでなく準備にも、かなりの時間をかけています。その準備の時間も絆を深める増強活動に繋がっています。このジョーフェスを通じて、ひとりでも多くの方が笑顔になっていただけたら幸いです。(寄稿：齋藤 麻由 広報委員)



■南加賀支部

9/22 (金) 高見 東次郎 会員 大協運送 (株) 取締役部長

小松市民センター

「今自分がすべき事とは」



後継者候補の一人という難しい立場にも関わらず、よい会社になりたいという思いから7年前にはやりたいことを実行し、勝手に全社員の面談や(当時の)社長交代を断行してきました。面談で社員は会社が変わって欲しいと思っていて、会社は社員が変わってほしいと思っている、それは同じことだと気づき、社内にプロジェクトを立ち上げ更なる改善を実行します。いろんなことを始めたその一歩目は経営理念だったと言います。実は会社も社員も会社をよくしたいという同じ方向を見ていて、それが経営理念だったということです。やりたいことではなく、やるべきことを実践する中で、社長や社員とも向き合い、誰もが言いにくいことも「俺が言わないからだめなんだ」と自分を鼓舞して発信してきました。今回の報告にあたり、初の経営指針発表会を経て、課題は尽きないが、ようやく未来と向き合えたと笑顔で語ってくれました。

その後、課題を解決していくためにどのようにコミュニケーションを図っていけば良いかを焦点に討論を行ない、コミュニケーションの重要性を改めて認識しました。(寄稿：奥 澄 グループ長)

【9月委員会活動報告】

■環境経営委員会

8/23 (水) 環境経営ワークショップ例会 乗地 茂勝 会員 大生食品工業(株) 代表取締役社長
環境経営と共に財務課題解決をはかる



昨年12月に続き、2回目のワークショップ例会を開催しました。

冒頭乗地会員から「電気料金が2倍近くまで高騰し、財務に影響が出ている。対応策として太陽光パネル導入を進めており、年内に稼働開始予定」と、現状課題と対応状況について話題提供がありました。

企業として環境経営(電気使用量の削減)に取り組みながら、財務課題(電気料金の削減)を進める取り組みについて、3月に実施した電気使用量モニタリングの数値から、各社での省電力取り組みの方向性について議論を深めました。各社の状況把握と共に、日本・世界の脱炭素社会への取り組みについても議論が進み、「日本はまだ脱炭素への取り組みが後進であり、経営者として費用対効果をまず考えてしまっているが、採算度外視してでも積極的に世界の取り組みを学び、環境経営を取り入れていく行動を進めましょう」と絹川副代表理事がまとめました。

ワークショップ終了後、乗地会員は早々に個別機器の消費電力計測器を手配し、「無駄に消費している電力」を探る行動を開始しました。

環境経営委員会では、当面は電力消費量を削減する実践ワークショップ例会を継続的に行い、各企業での取り組み進捗を共有しながら一步一步環境経営を浸透させていきたいと考えております。「消費電力削減から取り組む環境経営」に興味のある方は環境経営委員会にお声掛けください。

(寄稿：櫻井 浩一 広報委員)

■経営労働委員会

9/23（土祝）-9/24（日）経営指針成文化講座 経営方針編 ウェルネスハウス SARAI

ワクワクビジョン実現のための方針発表

第16期経営指針成文化講座第三講(方針編)は受講生12名、共学者を合わせ42名の参加で行われました。黒崎嘉之会員(黒崎産業(株))による報告からスタートしました。内容は第一講の理念、第二講のビジョンと今回の方針とが、どのように結びつき経営しているのかの実践報告でした。成文化当時の指針書と比べて現在は社員により伝わるようにわかりやすく、具体的であることを意識して変化していること。また、指針書を浸透させていくには5年10年と継続して自社で発表し続けることが重要だということを感じました。また、受講生の意欲も高く報告者への質疑も飛び交う報告でした。



その後は各グループに分かれ、受講生の課題報告、それに対する質疑応答等、自習が繰り返され、さらにブラッシュアップした内容になりました。翌日にはこれまでのつくり込みに対する発表を行ない、受講生の中には、まだ考えきれていない、まだまだ深掘りに時間をかけたいという人や繋がりのある理念・ビジョン・方針を発表する人もいました。受講生全員が真剣にこの講座を受講していることを感じました。

今回で第三講も終わり、残りは第四講の計画編と発表会になりますが、補講も行い、受講生・共学者が最後まで一緒になってしっかりと取り組み作り上げていきたいと思えます。次回第四講計画編は10月21日(土)金沢学生のまち市民交流館にて行われます。(寄稿：奥 澄 経営労働委員)

第36回経営者フォーラム

■2023年10月30日(月) 基調報告 14:00~15:30 分科会 15:45~18:45 交流会 19:00~20:30

■会場 フラワーガーデン ■参加費 フォーラム:2,000円(いずれかまたは両方参加) 交流会費:8,000円

■メインテーマ「変革への挑戦」

- ・基調報告 中野 愛一郎 氏(奈良同友会副代表理事／(株)イベント21 代表取締役社長)
- ・第1分科会【企業づくり】石川 祐輔 氏(愛知同友会／(株)カナマル 代表取締役)
- ・第2分科会【地域づくり・産学連携】福田 崇之 氏(金沢工業大学 産学連携局次長)
- ・見学分科会【採用戦略と働き方改革】(会員企業) さくらホームグループ 東洋警備保障(株)

■参加申込は

web から→



■申込締切 10月25日(水) ※10/26以降のキャンセルは参加費負担。

※見学分科会は定員45名の調整のため、申込は10月23日(月)まで。

同友会3つの目的>>>よい会社をめざす よい経営者になろう よい経営環境をめざす

石川県中小企業家同友会

〒920-0059 金沢市示野町南52 tel.076-255-2323 fax.076-268-5656